

第八次千葉県障害者計画主要施策管理表

第八次千葉県障害者計画の進捗状況等(令和6年度)について

第八次千葉県障害者計画では、主要施策1「障害のある人のニーズに即した多様な暮らしの実現」から主要施策8「様々な視点から取り組むべき事項」まで、施策毎に数値目標と取組の方向性が設定されている。（再掲を含め数値目標：135、取組の方向性：276を設定）

令和6年度の数値目標に対する実績について、達成率により評価可能な119項目のうち、A評価（目標値の100%以上の達成率）は57項目、B評価（目標値の80%以上100%未満）は40項目であり、A評価とB評価の項目が81.5%となっている。

主要施策	数値 目標数	令和6年度状況					
		A	B	C	D	E	その他
1 障害のある人のニーズに即した多様な暮らしの実現	13	4	6				3
2 精神障害のある人の地域生活の推進	16	10	5	1			
3 障害のある人への理解を広げ権利を擁護する取組の推進	14	7	2	1	3		1
4 障害のある子どもの療育支援体制の充実	20	9	5			1	5
5 障害のある人の相談支援体制の充実	20	3	7	4	4		2
6 障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実	27	14	8	3			2
7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実	10	1	3	2	2		2
8 様々な視点から取り組むべき事項	15	9	4	1			1
計	135	57	40	12	9	1	16
達成率により評価可能な数値目標数（割合）	119	47.9%	33.6%	10.1%	7.6%	0.8%	

A+B= 81.5%

数値目標の達成状況評価	A …… 目標値の100%以上の達成率
	B …… 目標値の80%以上100%未満の達成率
	C …… 目標値の60%以上80%未満の達成率
	D …… 目標値の30%以上60%未満の達成率
	E …… 目標値の30%未満の達成率
	その他 …… 調査中及び達成率による評価ができないもの等
※増加(低下)を目指す数値目標は、原則として基準年に対し実績が上回る(下回る)場合はA評価、下回る(上回る)場合はE評価とします。	

【参考】第八次千葉県障害者計画主要施策管理表(その他を除いた各評価項目の割合: %)

主要施策	数値 目標数	令和6年度状況					
		A	B	C	D	E	計
1 障害のある人のニーズに即した多様な暮らしの実現	10	40.0	60.0				100.0
2 精神障害のある人の地域生活の推進	16	62.5	31.3	6.3			100.0
3 障害のある人への理解を広げ権利を擁護する取組の推進	13	53.8	15.4	7.7	23.1		100.0
4 障害のある子どもの療育支援体制の充実	15	60.0	33.3			6.7	100.0
5 障害のある人の相談支援体制の充実	18	16.7	38.9	22.2	22.2		100.0
6 障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実	25	56.0	32.0	12.0			100.0
7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実	8	12.5	37.5	25.0	25.0		100.0
8 様々な視点から取り組むべき事項	14	64.3	28.6	7.1			100.0
計	119						

【参考】第七次千葉県障害者計画主要施策管理表

主要施策	数値 目標数	令和5年度状況					
		A	B	C	D	E	その他
1 入所施設から地域生活への移行の推進	12	5	3	3			1
2 精神障害のある人の地域生活の推進	13	3	5	3	1		1
3 障害のある人への理解を広げ権利を擁護する取組の推進	12	4	4	3	1		
4 障害のある子どもの療育支援体制の充実	22	12	6	1		2	1
5 障害のある人の相談支援体制の充実	13	6	3	3	1		
6 障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実	25	7	12	5	1		
7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実	8	2	1	3	2		
8 様々な視点から取り組むべき事項	18	13	4	1			
計	123	52	38	22	6	2	3
達成率により評価可能な数値目標数(割合%)	120	43.3%	31.7%	18.3%	5.0%	1.7%	

A+B= 75.0%

第八次千葉県障害者計画主要施策管理表

令和6年度

主要施策

1 障害のある人のニーズに即した多様な暮らしの実現

◇グループホーム等の機能的な強化や支援の質の向上を図るとともに、日中活動の場の整備を推進します。

◇障害のある人が地域で安心して暮らせるよう、在宅サービスの充実を図るとともに、コミュニケーション支援や移動支援等の取組を推進します。

◇強度行動障害のある人や医療的ケアが必要な人など、障害の程度が重い人についても、できる限り地域で生活できるよう支援していくとともに、地域での支援が困難な人に対しては、入所施設の有する人的資源や機能を地域生活のバックアップのために活用します。

◇共同住居より単身で生活したいというニーズを有する障害のある人のため創設された、サテライト型住居の設置・活用が図られるよう、引き続き周知に努めます。

基本施策

- (1) グループホーム等の充実及び地域生活支援拠点等の整備
- (2) 日中活動の場の充実
- (3) 地域生活を推進するための在宅サービスの充実
- (4) 重度・重複障害のある人等の地域生活の支援
- (5) 入所施設の有する人的資源や機能の活用
- (6) 千葉リハビリテーションセンターの運営

数値目標の評価

(個)

年度	目標数	A	B	C	D	E	その他
6	13	4	6				3
7							
8							

主要施策の取組状況等

令和6年度	【取組結果】 (1)グループホームに対する運営等に関する費用の補助や、障害者グループホーム等支援ワーカーにより開設・運営に関する相談を実施しました。また、市町村等に対する説明会や集団指導等において、地域生活支援拠点等の説明を行いました。 (2)個々の障害特性やニーズに応じて利用可能な日中活動の場の整備の促進を図りました。これは、医療的ケアができる生活介護などの日中活動の場に係る事業等においても同様に整備の促進を図りました。 (3)県が指定した事業者による各種の研修の実施により、支援者の質の向上を図り、利用者のニーズに応えられるサービス量の確保に努めました。また、盲導犬・介助犬等の育成、中途視覚障害者の歩行訓練やコミュニケーション訓練、視覚障害のある人のための教養・文化講座などの適切な実施に努めました。 (4)「重度の強度行動障害のある方の受入等支援事業」により、施設整備3件(R5→R6繰越分)、追加配置の人員費15件に対して、補助を実施しました。また、在宅の重症心身障害者の受け入れが可能な短期入所事業所や、生活介護等の日中活動の場の整備を引き続き促進しました。 (5)重度の障害を持つ人や医療的ケアが必要な人の施設入所支援、短期入所等の入所施設(障害者支援施設)の個室化、バリアフリー化や高齢化に対応した改修等を支援しました。また市町村等に対する説明会や集団指導において、地域生活支援拠点等の説明を行いました。 (6)県内唯一の総合リハビリテーションセンターとして、民間では対応が難しい障害児者に対するリハビリテーションの提供や民間施設等への技術的な援助等を行いました。また、令和8年度の新外来診療棟の供用開始に向け、センターの再整備を進めました。
令和7年度	【取組結果への対応】 (1)引き続き、グループホームに対する運営等に関する費用の補助や、障害者グループホーム等支援ワーカーによる、医療的ケア、強度行動障害がある方を支援するグループホームへの開設・運営に関する啓発、相談を実施します。また、地域生活支援拠点が未整備となっている市町村に対し、情報提供等必要な支援を行います。 (2)引き続き、個々の障害特性やニーズに応じて利用可能な日中活動の場の整備の促進を図ります。医療的ケアができる生活介護などの日中活動の場に係る事業等においても同様に整備の促進を図ります。 (3)引き続き、県が指定した事業者による各種の研修により、支援者の質の向上及びサービス量の確保を図ります。また、盲導犬・介助犬等の育成、中途視覚障害者の歩行訓練やコミュニケーション訓練、視覚障害のある人のための教養・文化講座などの適切な実施に努めます。 (4)「重度の強度行動障害のある方の受入等支援事業」により、重度の強度行動障害のある方について地域の民間事業所等での受け入れが進むよう環境を整備します。また、在宅の重症心身障害者の受け入れが可能な短期入所事業所や、生活介護等の日中活動の場の整備を促進します。 (5)重度の障害を持つ人や医療的ケアが必要な人の施設入所支援、短期入所等の入所施設(障害者支援施設)の一層の個室化、バリアフリー化や高齢化に対応した改修等を支援します。また、地域生活支援拠点が未整備となっている市町村に対し、情報提供等必要な支援を行います。 (6)引き続き、民間では対応が難しい障害児者に対するリハビリテーションの提供を行うとともに、患者等の状態に影響が生じないよう十分配慮しながら、第1期工事を進めてまいります。

第八次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

(評価)

A……目標値の100%以上の達成率

B……目標値の80%以上100%未満の達成率

C……目標値の60%以上80%未満の達成率

D……目標値の30%以上60%未満の達成率

E……目標値の30%未満の達成率

1 障害のある人のニーズに即した多様な暮らしの実現

数値目標	基本施策	項目	単位	指針	実績 R4(上段) R5(中段)	年度	目標	実績	評価	実績に対する評価の説明 (6年度・コメント)	担当課
1-1	(1)グループホーム等の充実及び地域生活支援拠点等の整備	グループホーム等の定員	人		10,410	R6	—	13,081	—	令和5年度実績より増加している。	障害福祉事業課
					11,640	R7	—				
						R8	15,000				
1-2		施設入所者の地域生活への移行者数	人	○	87	R6	66	59	B	令和6年度の数値目標を下回った。	障害福祉事業課
					74	R7	66				
						R8	66				
1-3		施設入所者数	人	○	4,355	R6	—	4,332	—	令和8年度の数値目標を達成した。	障害福祉事業課
					4,335	R7	—				
						R8	4,355				
1-4		地域生活支援拠点等が整備されている市町村数※共同設置を含む	市町村	○	28	R6	40	38	B	相談支援アドバイザーを派遣し、助言等を行った。また、市町村等に対する説明会や集団指導で地域生活拠点等の説明を行うなど、引き続き取り組んでいく。	障害福祉事業課
					38	R7	45				
						R8	54				
1-5		地域生活支援拠点等コーディネーター配置人数	人	○	—	R6	20	38	A	相談支援アドバイザーを派遣し、助言等を行いました。また、市町村等に対する説明会や集団指導で地域生活拠点等の説明を行ったことなどにより、前年と比べて増となり、目標を達成しました。	障害福祉事業課
					36	R7	24				
						R8	27				
1-6		地域生活支援拠点等の機能の充実に向けた検証及び検討を実施した市町村数※整備済み市町村のみ対象	市町村	○	28	R6	35	28	B	令和4年度及び5年度は、未整備の市町村で検討を行った場合を含めていた。令和6年度は、整備済みの市町村のみを対象としたため、減となった。	障害福祉事業課
					40	R7	40				
						R8	45				
1-7		障害福祉サービス事業所に対する指導監査結果の市町村との共有回数	回	○	0	R6	1	1	A	障害者総合支援法に基づく行政処分を行い、関係自治体へ情報共有を行った。	障害福祉事業課
					0	R7	1				
						R8	1				

第八次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

(評価)

A……目標値の100%以上の達成率

B……目標値の80%以上100%未満の達成率

C……目標値の60%以上80%未満の達成率

D……目標値の30%以上60%未満の達成率

E……目標値の30%未満の達成率

1 障害のある人のニーズに即した多様な暮らしの実現

数値目標	基本施策	項目	単位	指針	実績 R4(上段) R5(中段)	年度	目標	実績	評価	実績に対する評価の説明 (6年度・コメント)	担当課
1-8	(2)日中活動の場の充実	地域活動支援センター設置市町村数 ※共同設置を含む	市町村		53	R6	54	53	B	数値目標までは達成していない。	障害福祉事業課
					53	R7	54				
						R8	54				
1-9	(3)地域生活を推進するための在宅サービスの充実	日常生活自立支援事業利用者数	人		1,701	R6	1,752	1,753	A	令和6年度の数値目標を達成している。	健康福祉指導課
					1,805	R7	1,832				
						R8	1,912				
1-10		短期入所事業所数	箇所		315	R6	365	408	A	グループホームの設置に係る短期入所の増加等により計画を上回る実績となった。	障害福祉事業課
					365	R7	390				
						R8	415				
1-11	(4)重度・重複障害のある人等の地域生活の支援	「強度行動障害のある方の支援者に対する研修事業」受講者数	人		138	R6	170	169	B	概ね令和6年度の数値目標は達成できた。	障害福祉事業課
					154	R7	186				
						R8	202				
1-12	(5)入所施設の有する人的資源や機能の活用	指定障害者支援施設の必要定員総数	人	○	4,581	R6	—	4,531	—	令和8年度の数値目標を達成した。	障害福祉事業課
					4,527	R7	—				
						R8	4,541				
1-13		地域生活支援拠点等が整備されている市町村数 ※共同設置を含む【1-4再掲】	市町村	○	28	R6	40	38	B	相談支援アドバイザーを派遣し、助言等を行った。また、市町村等に対する説明会や集団指導で地域生活拠点等の説明を行うなど、引き続き取り組んでいく。	障害福祉事業課
					38	R7	45				
						R8	54				

第八次千葉県障害者計画主要施策管理表

令和6年度

主要施策

2 精神障害のある人の地域生活の推進

◇精神疾患は全ての人にとって身近な病気であり、精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう、計画的に地域の基盤を整備するとともに、市町村や障害福祉・介護事業者が、精神障害のある人等の地域生活に関する相談に対応できるように、保健・医療・福祉関係者等による協議の場や、個別支援における協働を通じて、精神科医療機関、その他の医療機関、地域援助事業者、当事者・ピアサポーター、家族、居住支援関係者等との重層的な連携による支援体制の構築を推進します。

◇精神症状の急激な悪化等の緊急時に、適切な医療を確保できるよう「千葉県精神科救急医療システム」における精神科救急医療相談窓口を24時間設置していますが、引き続き早急に適切な医療を必要とする精神科救急患者等に対応できる空床を確保するため、精神科救急医療施設の拡充を図ります。

◇精神障害への偏見や差別意識を払拭し、精神障害の有無や程度にかかわらず、分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するため、精神障害への理解促進に努めます。

基本施策

- (1) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築
- (2) 精神科救急医療体制の充実
- (3) 理解促進・普及啓発の推進

数値目標の評価

(個)

年度	目標数	A	B	C	D	E	その他
6	16	10	5	1			
7							
8							

主要施策の取組状況等

令和6年度	【取組結果】 (1) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業における協議の場等を通じて、障害保健福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じて、精神障害のある人等の地域生活支援や入院中の精神障害者の地域移行・地域定着の促進に係る検討を進めました。 (2) 精神科救急医療システムにかかる課題等を協議しました。関係機関との連携強化を目的に研修を実施し、適切な精神科救急医療の確保を推進しました。 (3) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業において圏域ごとに普及啓発に取り組みました。また、県民や支援者等に向けてメンタルヘルスの基本知識や聴く技術を学ぶための心のサポーター養成研修を実施しました。
令和7年度	【取組結果への対応】 (1) 引き続き、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業における協議の場等を通じて、地域の課題やニーズについて検討を重ね、連携体制の構築を推進します。 (2) 引き続き、精神科救急医療に係る関係機関と連携して、適切な精神科救急医療の確保を推進します。 (3) 引き続き、メンタルヘルスにかかる研修や講演会等を通じて知識や理解を深められるよう普及啓発を促進します。

第八次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

(評価)

A・・・・目標値の100%以上の達成率

B・・・・目標値の80%以上100%未満の達成率

C・・・・目標値の60%以上80%未満の達成率

D・・・・目標値の30%以上60%未満の達成率

E・・・・目標値の30%未満の達成率

2 精神障害のある人の地域生活の増進

数値目標	基本施策	項目	単位	指針	実績 R4(上段) R5(中段)	年度	目標	実績	評価	実績に対する評価の説明 (6年度・コメント)	担当課
2-1	(1) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築	千葉県精神障害者地域移行・地域定着協力病院の指定数	箇所		24 25	R6 R7	25 26	25	A	更新の認定につながり、目標を達成している。新規認定につながらなかったため、協議の場等を通じて周知を行い、引き続き、地域移行・地域定着に協力的な病院を適切に認定していく。	障害者福祉推進課
2-2		精神病床から退院後1年以内の地域における平均生活日数	日	○	330.0 (R1) 329.0 (R2)	R6 R7 R8	330.4 330.8 331.2	331.6 (R3)	A	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業を活用し、地域での支援体制構築を推進し、目標を達成した。引き続き、支援体制の構築推進に取り組んでいく。	障害者福祉推進課
2-3		精神病床における65歳以上の1年以上長期入院患者数	人	○	3,924 3,811	R6 R7 R8	3,512 3,100 2,687	3,544	B	減少傾向ではあるが、目標を未達成であった。引き続き、長期入院患者の地域移行に取り組んでいく。	障害者福祉推進課
2-4		精神病床における65歳未満の1年以上長期入院患者数	人	○	2,536 2,443	R6 R7 R8	2,348 2,160 1,972	2,339	A	病院・障害福祉サービス事業所・行政等の連携を図り、地域移行支援に取り組み、目標を達成している。引き続き、地域支援体制の構築推進に取り組んでいく。	障害者福祉推進課
2-5		精神病床における3か月時点の早期退院率	%	○	67.2 (R1) 67.6 (R2)	R6 R7 R8	70 70 70	68.0 (R3)	B	目標を未達成。精神病床における3か月時点の早期退院率を上げるために、引き続き、家族支援等の推進に取り組んでいく。	障害者福祉推進課
2-6		精神病床における6か月時点の早期退院率	%	○	81.6 (R1) 81.5 (R2)	R6 R7 R8	84 85 86	82.2 (R3)	B	目標を未達成。精神病床における6か月時点の早期退院率を上げるために、引き続き、ピアサポーターを活用し、地域移行に取り組んでいく。	障害者福祉推進課
2-7		精神病床における1年時点の早期退院率	%	○	88.4 (R1) 88.4 (R2)	R6 R7 R8	90 91 92	89.2 (R3)	B	目標を未達成。精神病床における1年時点の退院率を上げるために、引き続き、ピアサポーターの活用や住まいの確保支援に取り組んでいく。	障害者福祉推進課

第八次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

(評価)

A……目標値の100%以上の達成率

B……目標値の80%以上100%未満の達成率

C……目標値の60%以上80%未満の達成率

D……目標値の30%以上60%未満の達成率

E……目標値の30%未満の達成率

2 精神障害のある人の地域生活の増進

数値目標	基本施策	項目	単位	指針	実績 R4(上段) R5(中段)	年度	目標	実績	評価	実績に対する評価の説明 (6年度・コメント)	担当課
2-8		市町村ごとの保健、医療、福祉関係者による協議の場の設置状況	箇所	○	44	R6	46	48	A	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業の活用と働きかけにより、新たな協議の場の設置を検討するなどし、目標を達成した。 ※R6年度より千葉市を含めた数値	障害者福祉推進課
2-9		協議の場の1年間の開催回数	回	○	83	R6	86	90	A	目標を達成した。精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業の圏域ごとの協議の場において、引き続き、地域課題の検討に取り組む。	障害者福祉推進課
2-10		協議の場における参加者数	人	○	—	R6	1,290	1,801	A	目標を達成した。精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業の圏域ごとの協議の場において、圏域連携コーディネーターが中心となり医療・福祉・行政等の関係者による協議を、引き続き推進する。	障害者福祉推進課
2-11		協議の場における目標設定及び評価の実施回数	回	○	16	R6	16	16	A	目標を達成した。引き続き、協議の場において実施状況のモニタリングを行い、課題の検討や各圏域間の情報共有を行う。	障害者福祉推進課
2-12		精神病床における退院患者の退院後の行き先(在宅)	人	○	541	R6	541	540	B	目標達成に近づいている。引き続き、それぞれのニーズに合った支援を情報提供できるよう、保健・医療・福祉の連携に取り組んでいく。	障害者福祉推進課
2-13		精神病床における退院患者の退院後の行き先(障害者施設等)	人	○	69	R6	69	91	A	目標を達成した。引き続き、それぞれのニーズに合った支援を情報提供できるよう、保健・医療・福祉の連携に取り組んでいく。	障害者福祉推進課
2-14		精神病床における退院患者の退院後の行き先(介護施設)	人	○	80	R6	80	63	C	目標を未達成。精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業の協議の場において、高齢者施策との連携に取り組んでいく。	障害者福祉推進課

第八次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

(評価)

A……目標値の100%以上の達成率

B……目標値の80%以上100%未満の達成率

C……目標値の60%以上80%未満の達成率

D……目標値の30%以上60%未満の達成率

E……目標値の30%未満の達成率

2 精神障害のある人の地域生活の増進

数値目標	基本施策	項目	単位	指針	実績 R4(上段) R5(中段)	年度	目標	実績	評価	実績に対する評価の説明 (6年度・コメント)	担当課
2-15		地域移行・地域定着推進に関する会議への参加件数	件	○	—	R6 R7 R8	26 26 26	75	A	目標を達成した。精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業において、引き続き入院患者の地域移行に取り組んでいく。	障害者福祉推進課
2-16	(3) 理解促進・普及啓発の推進	地域移行・地域生活支援事業のピアサポーター活動箇所数	箇所	○	9	R6 R7 R8	11 13 15	15	A	目標を達成した。精神障害にも対応した地域包括ケア構築推進事業において、各圏域でピアサポーターの活動を支援及び協働して普及啓発等の活動に取り組んでいく。	障害者福祉推進課

第八次千葉県障害者計画主要施策管理表

令和6年度

主要施策

3 障害のある人への理解を広げ権利を擁護する取組の推進

◇障害者条例に基づき、相談活動等を通じて個別の差別事案の解決を図るとともに、差別の背景にある社会慣行などの問題について、様々な立場の関係者で協議し、障害のある人に優しい取組を応援します。同条例及び障害者差別解消法について周知し、障害のある人への理解を広げ、障害のある人への差別をなくすための取組を推進します。

◇障害のある人への虐待の防止や早期発見・早期対応を図るため、市町村等関係機関との連携強化や研修の実施、県民への周知啓発等に努めます。

◇障害者差別解消支援地域協議会が各市町村に設置されるよう課題などを収集し情報提供を行い支援するなど、同協議会の活性化を図ります。

◇県で策定した「障害のある人に対する情報保障のためのガイドライン」を周知するほか、視聴覚障害者情報提供施設である点字図書館、聴覚障害者情報提供施設や、障害者ITサポートセンターの安定的な運営に努めます。

◇手話言語等条例等に基づき、手話通訳者、要約筆記者、盲ろう者向け通訳・介助員の養成や、手話等の普及を促進します。

◇点訳・朗読奉仕員、失語症者向け意思疎通支援者等の人材養成に取り組み、情報・コミュニケーションのバリアフリーを推進します。

◇「障害のある人に関するマーク」の県民への周知と理解の促進に取り組みます。

基本施策

- (1) 障害のある人への理解の促進
- (2) 子どもたちへの福祉教育の推進
- (3) 地域における権利擁護体制の構築
- (4) 地域における相談支援体制の充実
- (5) 手話通訳等の人材育成、手話等の普及促進
- (6) 情報・コミュニケーションバリアフリーのための普及啓発

数値目標の評価

(個)

年度	目標数	A	B	C	D	E	その他
6	14	7	2	1	3		1
7							
8							

主要施策の取組状況等

令和6年度	【取組結果】 (1)障害者差別解消法及び障害者条例の周知・啓発活動を行い、障害のある人への理解促進及び差別解消に努めました。 (2)福祉教育関係者を対象に、参集形式やオンデマンドにより福祉教育推進員養成研修を開催し、人材の育成に努めました。 (3)県において虐待事案を覚知した場合は、迅速に市町村や労働局等関係機関へ繋ぎ調整や協力を行いました。また、障害者虐待防止に関する各種研修を実施しました。 (4)市町村自立支援協議会等の会議に広域専門指導員が参加する等、市町村との連携強化に努めました。 (5)手話通訳者等の人材育成については、手話通訳者養成講座や要約筆記養成講座を実施し育成に努めました。また、失語症者向け意思疎通支援者育成のため養成研修を実施しました。 (6)講師派遣依頼があった研修において「障害のある人に対する情報保障のためのガイドライン」を配付し、必要な配慮を行うよう働きかけました。また、同ガイドラインを県ホームページに掲載し、広く周知しています。
令和7年度	【取組結果への対応】 (1)引き続き、障害者差別解消法及び障害者条例の周知・啓発を行っていきます。 (2)学校や地域に福祉教育を広める人材を育てるため、引き続き、福祉教育推進員養成研修を、福祉教育推進校の指定を受けた学校や団体の方々に受講していただくよう取り組んでいきます。 (3)引き続き、虐待事案を覚知した場合は関係機関に対して調整や協力を行います。また、引き続き障害者虐待防止に関する各種研修を実施していきます。 (4)引き続き、市町村との連携強化に努めます。また、相談支援アドバイザーを自立支援協議会等へ派遣することにより、相談支援体制の整備等を支援します。 (5)今後も引き続き、手話通訳者等の養成に取り組むとともに、県ホームページ等を活用して養成講座の周知を図ります。また、失語症者向け意思疎通支援者養成研修の充実を図り、失語症の理解がさらに広がるよう取り組みます。 (6)引き続き、「障害のある人に対する情報保障のためのガイドライン」を周知し、市町村をはじめとした関係機関や民間事業者においても必要な配慮が行われるよう働きかけていきます。

第八次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

(評価)

A……目標値の100%以上の達成率

B……目標値の80%以上100%未満の達成率

C……目標値の60%以上80%未満の達成率

D……目標値の30%以上60%未満の達成率

E……目標値の30%未満の達成率

3 障害のある人への理解を広げ権利を擁護する取組の増進

数値目標	基本施策	項目	単位	指針	実績 R4(上段) R5(中段)	年度	目標	実績	評価	実績に対する評価の説明 (6年度・コメント)	担当課
3-1	(1) 障害のある人への理解の促進	共生社会という考え方を知っている県民の割合	%		38.2 37.6	R6 R7 R8	— — 50	35.6	—	令和4年度に内閣府が実施した世論調査における全国の認知度48.5%より低く、別調査ではあるが、30代以降の認知度が全国より低いのが要因と思われる。「聞いたことがある」を含めた割合はわずかに増加しており、障害のある人に対する理解が広がるよう引き続き努めていく。	障害者福祉推進課
3-2		障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例に関する周知・啓発活動の回数	回		3,979 3,452	R6 R7 R8	2,000 2,000 2,000	3,610	A	積極的に周知・啓発活動を行い、目標を大きく上回る実績となった。今後も障害者条例等の認知率向上のため、周知・啓発活動に努める。	障害者福祉推進課
3-3	(2) 子どもたちへの福祉教育の推進	福祉教育推進員養成研修の修了者数	人		51 48	R6 R7 R8	40 40 40	53	A	令和6年度の目標値を達成した。	健康福祉指導課
3-4	(3) 地域における権利擁護体制の構築	虐待防止アドバイザー派遣数	回		12 11	R6 R7 R8	17 17 17	17	A	管内市町村へ虐待防止アドバイザー派遣の活用を改めて周知したことにより、数値目標を達成した。	障害福祉事業課
3-5		職員対応要領を策定した市町村数	市町村		48 48	R6 R7 R8	50 52 54	51	A	未策定の市町村に対して働きかけを行ったことにより、目標を達成した。今後も未策定の市町村に働きかけを行っていく。	障害者福祉推進課
3-6		成年後見制度利用促進基本計画を策定した市町村数	市町村		—	R6 R7 R8	54 54 54	38	C	厚労省の実施した、成年後見制度利用促進に関する取組状況調査(令和5年度)では、全国の市町村計画の策定状況がR5年度策定済み69.5%、R6年度策定予定を含めると79.2%となっており、県内のR6年度策定状況はこれより低い状況となっている。成年後見制度の利用の促進を図るため、千葉県社会福祉協議会を通じて、制度を周知するための講習会等を実施したものの、都道府県単位の協議会が未設置であることなどが策定状況の低い要因の一つとして考えられる。	健康福祉指導課

第八次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

(評価)

A……目標値の100%以上の達成率

B……目標値の80%以上100%未満の達成率

C……目標値の60%以上80%未満の達成率

D……目標値の30%以上60%未満の達成率

E……目標値の30%未満の達成率

3 障害のある人への理解を広げ権利を擁護する取組の増進

数値目標	基本施策	項目	単位	指標	実績 R4(上段) R5(中段)	年度	目標	実績	評価	実績に対する評価の説明 (6年度・コメント)	担当課
3-7	(4) 地域における相談支援体制の充実	障害者差別解消支援地域協議会を設置した市町村数※共同設置を含む	市町村		50	R6	52	54	A	未設置の市町村へ働きかけを行ったことにより、全市町村に設置され、目標を達成した。	障害者福祉推進課
					50	R7	54				
						R8	54				
3-8	(5) 手話通訳等の人材育成、手話等の普及促進	点訳・朗読奉仕員の養成人数				R6			B	(養成人数の平均実績)	障害者福祉推進課
						R7					
						R8					
		点訳奉仕員の養成人数	人		24	R6	25	31	A	千葉県視覚障害者福祉協会のホームページでも周知していたが、令和6年度は県民だよりでの周知の結果、受講者数自体も36名と増え、点訳奉仕員の養成目標数を上回った。	障害者福祉推進課
						R7	25				
						R8	25				
		朗読奉仕員の養成人数	人		20	R6	25	17	C	令和6年度は県民だよりでの周知の結果、受講者数自体も34名と増えたが、本人の都合により出席できない等があり、朗読奉仕員の養成目標数を下回った。	障害者福祉推進課
						R7	25				
						R8	25				
3-9		手話通訳者実養成講習修了者数	人	○	37	R6	60	26	D	事業の周知等により、受講者数は増加したものの、手話通訳養成最終課程で修了率が伸び悩んだことから令和6年度実績は目標値を下回ったが、全過程での合計受講者、修了者は共に増加傾向にあり、引き続きフォローアップを行っていく。	障害者福祉推進課
						R7	60				
						R8	60				
3-10		要約筆記者実養成講習修了者数	人	○	5	R6	20	9	D	事業の周知等により、過年度から増加したが、令和6年度実績は目標値を下回った。	障害者福祉推進課
						R7	20				
						R8	20				
3-11		盲ろう者向け通訳・介助員実養成講習修了者数	人	○	14	R6	20	18	B	令和6年度実績は県内市町村への周知に力を入れた結果、申し込み人数が20人に達したが、本人の都合により出席ができない等あり、修了者は18人であった。	障害者福祉推進課
					15	R7	20				
						R8	20				

第八次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

(評価)

A……目標値の100%以上の達成率

B……目標値の80%以上100%未満の達成率

C……目標値の60%以上80%未満の達成率

D……目標値の30%以上60%未満の達成率

E……目標値の30%未満の達成率

3 障害のある人への理解を広げ権利を擁護する取組の増進

数値 目標	基本施策	項目	単位	指針	実績 R4(上段) R5(中段)	年度	目標	実績	評価	実績に対する評価の説明 (6年度・コメント)	担当課
3-12		手話通訳者・要約 筆記者派遣実利用 件数	件	○	388 415	R6 R7 R8	398 408 417	433	A	事業の周知等により、令和6年度実績が目標値を上回った。今後も引き続き事業の周知に取り組む。	障害者福祉推進課
3-13		盲ろう者向け通訳・ 介助員派遣実利用 件数	件	○	1,675 1,673	R6 R7 R8	1,700 1,725 1,749	1,874	A	新型コロナウイルスの影響から控えていた外出が増えたため、実利用件数は増加した。	障害者福祉推進課
3-14		失語症者向け意思 疎通支援者実養成 講習修了者数	人	○	25 23	R6 R7 R8	30 30 30	16	D	目標を未達成。受講者数の増加のために更なる周知広報に取り組む。また、受講者が参加しやすくなるよう開催時期の検討を行っていく。	障害者福祉推進課

第八次千葉県障害者計画主要施策管理表

令和6年度

主要施策

4 障害のある子どもの療育支援体制の充実

◇障害のある子どもが、乳児期から学校卒業までライフステージを通じて一貫した療育支援を受けられるよう、児童発達支援センターを中核とした地域における療育支援体制の構築を図ります。

◇手帳の有無や診断名等にかかわらず、障害の可能性が見込まれる子どものために、障害児等療育支援事業を活用し相談支援体制の充実及び在宅障害児等やその家族の福祉の向上を図ります。

◇医療的ケア児等の支援に関しては、医療的ケア児等支援センターにおいて、様々な相談にワンストップで対応するとともに、地域の支援体制の構築を支援します。

◇児童発達支援及び放課後等デイサービスについては、発達支援を必要とする障害のある子どものニーズに的確に対応するため、事業所の支援の質の向上を図ります。

◇重症心身障害の状態にある子ども等が入院・入所する千葉リハビリテーションセンターについて、県民ニーズに対応できる施設の整備を進めます。

基本施策

- (1) 障害のある子どものライフステージを通じた一貫した療育支援体制の充実
- (2) 障害のある子どもと家族への在宅支援機能の強化
- (3) 地域における相談支援体制の充実
- (4) 障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実
- (5) 障害のある子ども一人一人が十分に教育を受けられるための取組の充実
- (6) 難聴児の支援

数値目標の評価

(個)

年度	目標数	A	B	C	D	E	その他
6	20	9	5			1	5
7							
8							

主要施策の取組状況等

令和6年度	【取組結果】 (1) 保育所等訪問支援事業所は47事業所の新規開設があり、児童発達支援センターは未設置の市町村に1箇所の新規開設がありました。 (2) 事業所が地域のニーズに対応しました。開設支援や相談対応を行い、事業所数が増加しました。 (3) 障害児等療育支援事業について、63箇所の事業所等に委託し、事業を実施しました。 (4) 医療的ケア児等支援センター(ぼらりす)において、医療的ケア児等から寄せられる様々な相談へのワンストップでの対応や、市町村への助言や情報提供を行うなど、地域の支援体制の構築を支援しました。 (5) 教育庁が主催する医療的ケア課題検討会議において、令和6年度モデル事業等の通学支援について、課題検討を行い、通学支援体制の充実を図りました。 (6) 新生児聴覚検査の保護者向けリーフレットを作成・配布し、検査の必要性を啓発しました。また、軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業を実施しました。
令和7年度	【取組結果への対応】 (1) 引き続き、未設置の市町村を中心に働きかけていきます。 (2) 引き続き市町村と連携し、事業所等に対し、情報提供等の必要な支援を行います。 (3) 引き続き、障害児等療育支援事業を推進します。 (4) 引き続き、医療的ケア児等支援センターにおいて、相談対応や支援人材の育成のほか、市町村への助言や情報提供を行うなど、地域の支援体制の構築を支援します。 (5) 引き続き、医療的ケア課題検討会議等において、諸課題等について検討を行います。 (6) 引き続き、新生児聴覚検査の周知を行うとともに、軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業の継続及び内容の充実に努めます。

第八次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

(評価)

A……目標値の100%以上の達成率

B……目標値の80%以上100%未満の達成率

C……目標値の60%以上80%未満の達成率

D……目標値の30%以上60%未満の達成率

E……目標値の30%未満の達成率

4 障害のある子どもの療育支援体制の充実

数値目標	基本施策	項目	単位	指針	実績 R4(上段) R5(中段)	年度	目標	実績	評価	実績に対する評価の説明 (6年度・コメント)	担当課
4-1	(1) 障害のある子どものライフステージを通じた一貫した療育支援体制の充実	児童発達支援事業所数	箇所		690 793 R8	R6 R7 R8	856 939 1,022	896	A	182事業所の開設があり、目標以上の事業所数を達成した。	障害福祉事業課
4-2		放課後等デイサービス事業所数	箇所		951 1,038 R8	R6 R7 R8	1,139 1,233 1,327	1,077	B	143事業所の開設があり、概ね目標値の事業所数を達成した。	障害福祉事業課
4-3		保育所等訪問支援事業所数	箇所		132 165 R8	R6 R7 R8	182 207 232	191	A	47事業所の開設があり、目標以上の事業所数を達成した。	障害福祉事業課
4-4		児童発達支援センター設置市町村数 ※共同設置を含む	市町村	○	34 36 R8	R6 R7 R8	— — 54	37	—	3事業所の開設があり、圏域における共同設置を含めた設置市町村数は増加した。	障害福祉事業課
4-5	(2) 障害のある子どもと家族への在宅支援機能の強化	短期入所事業所数 (障害のある子どもを受け入れる事業所)	箇所		164 183 R8	R6 R7 R8	194 209 224	201	A	目標値を達成した。	障害福祉事業課
4-6		医療型短期入所事業所数	箇所		12 13 R8	R6 R7 R8	増加を 目指し ます 増加を 目指し ます 増加を 目指し ます	17	A	開設支援事業により4事業所が開設するなど、事業所数が増加した。	障害福祉事業課
4-7		居宅介護事業所数 (障害のある子どもを受け入れる事業所)	箇所		842 872 R8	R6 R7 R8	860 880 900	883	A	事業所が地域のニーズに対応したため、目標値を達成しました。	障害福祉事業課

第八次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

(評価)

A……目標値の100%以上の達成率

B……目標値の80%以上100%未満の達成率

C……目標値の60%以上80%未満の達成率

D……目標値の30%以上60%未満の達成率

E……目標値の30%未満の達成率

4 障害のある子どもの療育支援体制の充実

数値目標	基本施策	項目	単位	指針	実績 R4(上段) R5(中段)	年度	目標	実績	評価	実績に対する評価の説明 (6年度・コメント)	担当課
4-8	(3) 地域における相談支援体制の充実	障害児等療育支援事業実施箇所数	箇所	○	55 58	R6 R7 R8	56 56 56	63	A	目標を上回る事業所数となった。	障害福祉事業課
4-9	(4) 障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実	医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置市町村数※共同設置を含む	市町村		31 44	R6 R7 R8	— — 54	52	—	令和5年度の実績から設置数が8増加し、圏域での設置を含め、37市14町1村に30の協議会が設置済みである。	障害福祉事業課
4-10		障害児入所施設数	箇所		17 17	R6 R7 R8	17 18 18	17	A	公設、私設ともに新規設置がないことから、現状の施設数を維持している。	障害福祉事業課
4-11		主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所数	箇所	○	36 45	R6 R7 R8	— — 40	51	—	目標値を上回る増となった。引き続き、各市町村または各圏域に1箇所以上設置されるよう、機会をとりえて市町村に働きかけていく。	障害福祉事業課
4-12		主に重症心身障害児を支援する放課後等デイサービス事業所数	箇所	○	44 51	R6 R7 R8	— — 49	62	—	目標値を上回る増となった。引き続き、各市町村または各圏域に1箇所以上設置されるよう、機会をとりえて市町村に働きかけていく。	障害福祉事業課
4-13		医療的ケア児等の支援を総合調整するコーディネーターの配置人数	人	○	2 3	R6 R7 R8	3 3 3	3	A	目標値を達成した。	障害福祉事業課
4-14		医療的ケア児等に対する関連分野の支援を調整するコーディネーターの配置人数※共同配置を含む	人	○	35 77	R6 R7 R8	65 71 77	95	A	目標値を上回って配置があった。	障害福祉事業課

第八次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

(評価)

A……目標値の100%以上の達成率

B……目標値の80%以上100%未満の達成率

C……目標値の60%以上80%未満の達成率

D……目標値の30%以上60%未満の達成率

E……目標値の30%未満の達成率

4 障害のある子どもの療育支援体制の充実

数値目標	基本施策	項目	単位	指針	実績 R4(上段) R5(中段)	年度	目標	実績	評価	実績に対する評価の説明 (6年度・コメント)	担当課
4-15		福祉型障害児入所施設入所定員	人	○	268	R6	268	258	B	既存の施設での減床があったため、10名減少した。	障害福祉事業課
					268	R7	288				
						R8	288				
4-16		医療型障害児入所施設入所定員	人	○	588	R6	増加を 目指します	580	E	既存の施設での減床があったため、10名減少した。	障害福祉事業課
					590	R7	増加を 目指します				
						R8	増加を 目指します				
4-17	(5) 障害のある子ども一人一人が十分に教育を受けられるための取組の充実	幼・小・中・高等学校等において、園・学校が個別の指導計画の作成を必要と思う児童等のうち、実際に個別の指導計画が引継ぎに活用された児童等の割合	%		73.2	R6	84	78.3	B	個別の指導計画が作成されている児童等については、学年間、他校種への引継ぎ資料として計画が活用されている。目標達成には至らなかったものの、活用率を向上させることができた。	特別支援教育課
					75.8	R7	87				
						R8	90				
4-18		幼・小・中・高等学校等において、園・学校が個別の教育支援計画の作成を必要と思う児童等のうち、実際に個別の教育支援計画が引継ぎに活用された児童等の割合	%		70.9	R6	83	79.5	B	個別の教育支援計画が作成されている児童等については、学年間、他校種への引継ぎ資料として計画が活用されている。目標達成には至らなかったものの、活用率を向上させることができた。	特別支援教育課
					75.1	R7	86				
						R8	90				
4-19		特別支援教育に関する校内研修実施率	%		—	R6	89	76.5	B	幼稚園、小学校では約80%の学校で研修が実施されていたが、中学校と高等学校では約70%の実施だった。今後も引き続き校内研修の充実を図り、教員の資質向上を図っていく。	特別支援教育課
					—	R7	92				
						R8	95				
4-20		特別支援学校教員の特別支援学校教諭免許状保有率	%		93.7	R6	増加を 目指します	調査未 実施	—	令和6年度分調査未実施	特別支援教育課
					93.4	R7	増加を 目指します				
						R8	増加を 目指します				

第八次千葉県障害者計画主要施策管理表

令和6年度

主要施策

5 障害のある人の相談支援体制の充実

◇各市町村において、障害のある人の自立支援や地域共生社会の実現に向けて関係機関と連携し、地域の実情に合った相談支援体制を構築できるよう、相談支援アドバイザーの派遣による助言や研修会の開催等により支援を行います。

◇障害者総合支援法のサービス等利用計画を作成する相談支援事業者の安定的な確保と質の向上を目指し、相談支援専門員の確保に努めるとともに、養成に係る各種の研修及び専門性向上のための専門コース別研修等を行います。

◇地域における相談支援の中核的な役割を担うことが期待される基幹相談支援センターについては、市町村にモデルを示し、設置促進を支援します。

◇手帳の有無や診断名等にかかわらず、障害の可能性が見込まれる子どものための相談支援体制の充実及び在宅障害児等やその家族の福祉の向上を図ります。

基本施策

- (1) 地域における相談支援体制の充実
 (2) 地域における相談支援従事者研修の充実
 (3) 障害のある子どもと家族への在宅支援機能の強化

数値目標の評価

(個)

年度	目標数	A	B	C	D	E	その他
6	20	3	7	4	4		2
7							
8							

主要施策の取組状況等

令和6年度	【取組結果】 (1)相談支援アドバイザーの派遣により、基幹相談支援センターの機能強化に資する助言を行いました。県及び千葉市発達障害者支援センターによる相談対応、各種研修や講座の開催、企業等に対するコンサルテーション等を行いました。 (2)相談支援専門員の養成のための研修を実施するとともに、資質を高めるために専門コース別研修を実施しました。 (3)医療的ケア児等支援センターによる地域の支援体制構築への支援及び医療的ケア児等コーディネーターの養成研修を実施しました。県及び千葉市発達障害者支援センターにより、保護者及び支援者に対するペアレントプログラム等の支援を実施するとともに、ペアレントメンターを養成し、相談体制の強化に努めました。
令和7年度	【取組結果への対応】 (1)相談支援アドバイザーの派遣により、地域の相談支援体制の整備等を支援します。 (2)相談支援専門員の養成のための研修を実施するとともに、資質を高めるために専門コース別研修を実施します。 (3)医療的ケア児等支援センターにおいて、地域の支援体制構築への支援及び医療的ケア児等コーディネーターのフォローアップ研修を実施します。県及び千葉市発達障害者支援センターにより、保護者及び支援者に対するペアレントプログラム等の支援を実施するとともに、ペアレントメンターへの支援を実施します。

第八次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

(評価)

A……目標値の100%以上の達成率

B……目標値の80%以上100%未満の達成率

C……目標値の60%以上80%未満の達成率

D……目標値の30%以上60%未満の達成率

E……目標値の30%未満の達成率

5 障害のある人の相談支援体制の充実

数値目標	基本施策	項目	単位	指針	実績 R4(上段) R5(中段)	年度	目標	実績	評価	実績に対する評価の説明 (6年度・コメント)	担当課
5-1	(1) 地域における相談支援体制の充実	計画相談支援従事者数	人		1,368	R6	1,650	1,361	B	前年度の実績を概ね維持するに留まり、目標値に達することができなかった。	障害福祉事業課
					1,428	R7	1,800				
						R8	2,000				
5-2		特定相談支援事業所所在市町村数	市町村		48	R6	54	48	B	事業者が地域のニーズに対応したため、概ね目標を達成できた。	障害福祉事業課
					49	R7	54				
						R8	54				
5-3		一般相談支援事業所所在市町村数	市町村		35	R6	45	34	C	前年度の実績を維持するに留まり、目標を達成できなかった。	障害福祉事業課
					34	R7	50				
						R8	54				
5-4		基幹相談支援センター設置市町村数 ※共同設置を含む	市町村		39	R6	45	47	A	市町村が設置に取り組み、目標を達成できた。	障害福祉事業課
					40	R7	50				
						R8	54				
5-5		発達障害者支援センター相談件数(地域相談支援機関での相談を含む)	件	○	14,153	R6	16,000	13,481	B	発達障害者支援センター等が、発達障害のある方や関係者、関係機関に対し、研修や啓発を継続することにより、相談件数を維持することにつながったものと推察される。	障害福祉事業課
					13,506	R7	16,000				
						R8	16,000				
5-6		発達障害者支援地域協議会の開催回数	回	○	1	R6	3	2	C	県及び市のセンターで各1回開催し、目標を達成できなかった。	障害福祉事業課
					2	R7	3				
						R8	3				
5-7		ピアサポートの活動への参加人数	人	○	1,030	R6	1,400	738	D	養成研修を実施し、ピアサポーター増に努めたが、参加人数が減となり、目標を達成できなかった。	障害福祉事業課
					882	R7	1,600				
						R8	1,800				

第八次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

(評価)

A……目標値の100%以上の達成率

B……目標値の80%以上100%未満の達成率

C……目標値の60%以上80%未満の達成率

D……目標値の30%以上60%未満の達成率

E……目標値の30%未満の達成率

5 障害のある人の相談支援体制の充実

数値目標	基本施策	項目	単位	指針	実績 R4(上段) R5(中段)	年度	目標	実績	評価	実績に対する評価の説明 (6年度・コメント)	担当課
5-8		発達障害者支援センター及び発達障害者地域支援マネジャーの関係機関への助言件数	件	○	878 (420) 879 (435)	R6 R7 R8	900 900 900	732 (457)	—	県センターについては、件数が増となった。市センターについては、国の実績報告の集計方法の変更に伴い、件数が減少した(R5:444件・R6:275件)。そのため、実績の数値が比較できない。 ※実績欄の()は県分の内数である。	障害福祉事業課
5-9		発達障害者支援センター及び発達障害者地域支援マネジャーの外部機関や地域住民への研修、啓発件数	件	○	529 (242) 561 (231)	R6 R7 R8	600 600 600	138 (98)	—	県センターについては、外部機関からの講師依頼件数減等により実績が減となった。市センターについては、国の実績報告の集計方法変更に伴い、件数が減少した(R5:330件・R6:40件)。そのため、実績の数値が比較できない。 ※実績欄の()は県分の内数である。	障害福祉事業課
5-10		発達障害者支援センター運営事業				R6 R7 R8			B	(構成目標の平均による評価)	障害福祉事業課
		実施箇所数	箇所	○	3 3	R6 R7 R8	3 3 3	3	A	県センターが2箇所、市センターが1箇所設置し、目標を達成した。	障害福祉事業課
		実利用者数	人	○	2,231 2,324	R6 R7 R8	2,300 2,400 2,500	2,303	A	実績が減となったが、ニーズがあったため、目標を達成した。	障害福祉事業課
		研修等受講者数	人	○	6,673 6,794	R6 R7 R8	7,000 7,500 8,000	5,607	B	予定したよりニーズが少なく受講者数は減少したものの、概ね目標を達成した。	障害福祉事業課
5-11		千葉県相談支援アドバイザー派遣事業				R6 R7 R8			B	(構成目標の平均による評価)	障害福祉事業課
		アドバイザー配置数	人	○	43 43	R6 R7 R8	45 45 45	44	B	アドバイザー増員に努め、実績は増となり、概ね目標を達成した。	障害福祉事業課
		アドバイザー派遣件数	件	○	10 11	R6 R7 R8	15 15 15	13	B	派遣の要請があり、件数が増加したため、実績は増となり、概ね目標を達成した。	障害福祉事業課

第八次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

(評価)

A……目標値の100%以上の達成率

B……目標値の80%以上100%未満の達成率

C……目標値の60%以上80%未満の達成率

D……目標値の30%以上60%未満の達成率

E……目標値の30%未満の達成率

5 障害のある人の相談支援体制の充実

数値目標	基本施策	項目	単位	指針	実績 R4(上段) R5(中段)	年度	目標	実績	評価	実績に対する評価の説明 (6年度・コメント)	担当課
5-12	(2) 地域における相談支援従事者研修の充実	計画相談支援従事者数【5-i再掲】	人		1,368 1,428	R6 R7 R8	1,650 1,800 2,000	1,361	B	前年度の実績を概ね維持するに留まり、目標値に達することができなかった。	障害福祉事業課
5-13		相談支援専門員の養成数	人		318 395	R6 R7 R8	600 600 600	351	D	目標を高く設定したため、達成できなかった。	障害福祉事業課
5-14		相談支援専門コース別研修事業				R6 R7 R8			D	(受講者数の評価)	障害福祉事業課
		受講者数	人		135 260	R6 R7 R8	400 440 480	229	D	目標を高く設定したため、達成できなかった。	障害福祉事業課
		研修開催回数	回		2 4	R6 R7 R8	5 5 5	4	B	委託事業者が開催回数を確保したため、概ね目標を達成した。	障害福祉事業課
5-15		相談支援専門員研修(初任者・現任・主任)及びサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修(基礎・実践・更新)修了者数	人	○	2,867 3,109	R6 R7 R8	3,000 3,000 3,000	2,988	B	受講のニーズがあったため、修了者数が減少したものの、概ね目標を達成した。	障害福祉事業課

第八次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

(評価)

A……目標値の100%以上の達成率

B……目標値の80%以上100%未満の達成率

C……目標値の60%以上80%未満の達成率

D……目標値の30%以上60%未満の達成率

E……目標値の30%未満の達成率

5 障害のある人の相談支援体制の充実

数値目標	基本施策	項目	単位	指針	実績 R4(上段) R5(中段)	年度	目標	実績	評価	実績に対する評価の説明 (6年度・コメント)	担当課
5-16		相談支援専門員及びサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者への意思決定支援ガイドライン等を活用した研修				R6 R7 R8			C	(修了者数の評価)	障害福祉事業課
		修了者数	人	○	0 48	R6 R7 R8	60 60 60	36	C	予定したよりニーズが少なく、修了者数が減少し、目標を達成できなかった。	障害福祉事業課
		実施回数	回	○	0 1	R6 R7 R8	1 1 1	1	A	研修を開催したため、目標を達成した。	障害福祉事業課
5-17	(3) 障害のある子どもと家族への在宅支援機能の強化	医療的ケア児等に対する関連分野の支援を調整するコーディネーターの配置人数※共同配置を含む【4-14再掲】	人	○	35 77	R6 R7 R8	65 71 77	95	A	目標値を上回って配置があった。	障害福祉事業課
5-18		ペアレントトレーニングやペアレントプログラム等の支援プログラム等の受講者数(保護者)	人	○	89 47	R6 R7 R8	110 110 110	61	D	予定したよりニーズが少なく、修了者数は増加したものの、目標を達成できなかった。	障害福祉事業課
5-19		ペアレントトレーニングやペアレントプログラム等の支援プログラム等の実施者数(支援者)	人	○	63 55	R6 R7 R8	80 90 100	54	C	予定したよりニーズが少なく、修了者数が減少し、目標を達成できなかった。	障害福祉事業課
5-20		ペアレントメンターの登録者数	人	○	59 88	R6 R7 R8	88 88 100	88	A	発達障害者支援センターが登録者数の増に努め、目標を達成した。	障害福祉事業課

第八次千葉県障害者計画主要施策管理表

令和6年度

主要施策

6 障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実

◇障害のある人の一般就労を促進するため、就労移行支援事業所の支援体制の充実や支援員の資質向上、積極的な企業での実習や求職活動等の支援体制の強化を図るとともに、障害のある人を雇用する企業を支援し、障害のある人の就職や職場定着等を推進します。

◇福祉的就労を担う就労継続支援事業所に対し、事業内容の充実、経営改善など、障害のある人が働く力を十分発揮できる環境づくりを通じた工賃(賃金)向上に資する支援を実施します。

◇障害者就労施設への発注の拡大に向け、企業や自治体等からの発注に対応する共同受注窓口や、県内の就労施設等の情報をインターネットで提供する「チャレンジド・インフォ・千葉」等を通じて、受発注のマッチングを図っていきます。

◇障害のある人の経済的自立とともに、自らの価値観に基づく多様な働き方の選択が尊重されるよう、安心して継続して働ける環境づくりに努めます。

基本施策

- (1) 就労支援・定着支援の体制強化
- (2) 障害者就業・生活支援センターの運営強化
- (3) 障害のある人を雇用する企業等への支援
- (4) 支援機関や関係機関のネットワークの構築及び情報共有化
- (5) 福祉施設等で生産活動・福祉的就労を行う障害のある人の工賃(賃金)向上への取組の推進
- (6) 障害のある人の自らの価値観に基づいた働き方の選択を尊重した支援

数値目標の評価

(個)

年度	目標数	A	B	C	D	E	その他
6	27	14	8	3			2
7							
8							

主要施策の取組状況等

令和6年度	【取組結果】 (1)障害者就業・生活支援センターをはじめとした支援機関により、障害のある人への相談支援や職業訓練を行い、就労支援・定着支援体制の充実を図りました。 (2)(3)障害者就業・生活支援センターを全ての障害保健福祉圏域に設置し、生活支援員・企業支援員により、就職している障害のある人等への相談支援、企業の障害者雇用への理解促進に取り組みました。 (4)(5)就労を促進するための情報共有を目的とした会議等を開催し、関係機関の連携強化に係る課題を整理するとともに、千葉県障害者就労事業振興センターと連携し、就労継続支援事業所に対する研修を実施し、工賃(賃金)向上に向けた支援を行いました。 (6)障害者就業・生活支援センターをはじめとした支援機関等が連携して、障害のある人について、多様な働き方の選択が尊重されるよう支援を行いました。
令和7年度	【取組結果への対応】 (1)引き続き、障害者就業・生活支援センターをはじめとした支援機関により、障害のある人への相談支援や職業訓練を行い、就労支援・定着支援体制の充実を図ります。また、就労定着支援事業所等との連携強化に向け、就労支援定着促進事業を実施します。 (2)(3)引き続き、障害者就業・生活支援センターを全ての障害保健福祉圏域に設置し、生活支援員・企業支援員により、就職している障害のある人等への相談支援、企業の障害者雇用への理解促進に取り組みます。 (4)(5)引き続き、就労を促進するための情報共有を目的とした会議等を開催し、関係機関の連携強化に係る課題を整理するとともに、千葉県障害者就労事業振興センターと連携し、就労継続支援事業所に対する研修等を実施し、工賃(賃金)向上に向けた支援を行います。 (6)引き続き、障害者就業・生活支援センターをはじめとした支援機関等が連携していくとともに、障害のある人が多様な働き方の選択ができるよう新たに創設された「就労選択支援」について、関係機関と連携し、整備を進めるなど、多様な働き方の選択が尊重されるよう支援を行います。

第八次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

(評価)

A・・・・目標値の100%以上の達成率

B・・・・目標値の80%以上100%未満の達成率

C・・・・目標値の60%以上80%未満の達成率

D・・・・目標値の30%以上60%未満の達成率

E・・・・目標値の30%未満の達成率

6 障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実

数値目標	基本施策	項目	単位	指針	実績 R4(上段) R5(中段)	年度	目標	実績	評価	実績に対する評価の説明 (6年度・コメント)	担当課
6-1	(1) 就労支援・定着支援の体制強化	就労移行支援事業の利用者数	人		3,559	R6	3,915	4,880	A	令和6年度の目標値を達成した。	障害福祉事業課
					3,190	R7	4,093				
						R8	4,271				
6-2		障害者テクノスクール修了者の就職率	%		65.8	R6	80	90.9	A	就職者が前年度より5名増加し、就職率が上昇したことから、目標を達成した。	産業人材課
					69.4	R7	80				
						R8	80				
6-3		従業員40.0人以上規模の企業で雇用される障害のある人の数	人		—	R6	14,350	14,844	A	法定雇用率の引き上げに伴い、企業での雇用が進み、雇用障害者数は対前年比3.8%増加となり、目標を達成した。	産業人材課
					—	R7	15,550				
						R8	16,740				
6-4		従業員40.0人以上規模の企業で雇用される精神障害のある人の数	人		—	R6	3,670	3,943.5	A	法定雇用率の引き上げに伴い、企業での雇用が進み、精神障害者の雇用数は対前年比12.3%増加となり、目標を達成した。	産業人材課
					—	R7	4,300				
						R8	5,040				
6-5		障害者雇用率を達成した公的機関の割合	%		77.4	R6	100	87.5	B	法定雇用率の引き上げもあり、各機関が障害者の採用に努め、達成した機関が増加したものの、目標の9割弱にとどまった。	産業人材課
					82.1	R7	100				
						R8	100				
6-6		福祉施設利用者の一般就労への移行者数	人	○	1,344	R6	1,452	1,677	A	令和6年度の目標値を達成した。	障害福祉事業課
					1,277	R7	1,506				
						R8	1,560				
6-7		就労移行支援事業の一般就労への移行者数	人	○	992	R6	1,066	1,129	A	令和6年度の目標値を達成した。	障害福祉事業課
					889	R7	1,103				
						R8	1,140				
6-8		就労移行支援事業所のうち、就労移行支援事業利用終了者に占める一般就労へ移行した者の割合が5割以上の事業所の割合	%	○	—	R6	—	62.6	—	令和8年度の目標値を達成した。	障害福祉事業課
					—	R7	—				
						R8	50				

第八次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

(評価)

A・・・・目標値の100%以上の達成率

B・・・・目標値の80%以上100%未満の達成率

C・・・・目標値の60%以上80%未満の達成率

D・・・・目標値の30%以上60%未満の達成率

E・・・・目標値の30%未満の達成率

6 障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実

数値目標	基本施策	項目	単位	指針	実績 R4(上段) R5(中段)	年度	目標	実績	評価	実績に対する評価の説明 (6年度・コメント)	担当課
6-9		就労継続支援A型事業の一般就労への移行者数	人	○	211 215	R6 R7 R8	243 259 275	338	A	令和6年度の目標値を達成した。	障害福祉事業課
6-10		就労継続支援B型事業の一般就労への移行者数	人	○	109 135	R6 R7 R8	129 139 149	148	A	令和6年度の目標値を達成した。	障害福祉事業課
6-11		就労定着支援事業利用者数	人	○	1,191 2,089	R6 R7 R8	1,597 1,800 2,000	2,450	A	令和6年度の目標値を達成した。	障害福祉事業課
6-12		就労定着支援事業所のうち、利用終了後の一定期間における就労定着率が7割以上の事業所の割合	%	○	— —	R6 R7 R8	— — 25	31.6	—	令和8年度の目標値を達成した。	障害福祉事業課
6-13		就労支援部会の設置市町村数※共同設置を含む	市町村	○	50 50	R6 R7 R8	52 53 54	51	B	令和6年度の目標値を下回った。	障害福祉事業課
6-14		障害者委託訓練修了者の就職率	%	○	32.5 30.2	R6 R7 R8	55 55 55	40.2	C	就職者が前年度比で2名増加し、就職率は上昇したものの、目標の73%に留まった。	産業人材課
6-15		福祉施設から公共職業安定所へ誘導する福祉施設利用者数	人	○	2,017 1,809	R6 R7 R8	2,263 2,386 2,509	2,040	B	令和5年度実績より増加したものの、令和6年度目標値を下回った。	障害福祉事業課
6-16		福祉施設から障害者就業・生活支援センターへ誘導する福祉施設利用者数	人	○	528 464	R6 R7 R8	610 646 682	453	C	令和6年度の目標値を下回った。	障害福祉事業課

第八次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

(評価)

A・・・・目標値の100%以上の達成率

B・・・・目標値の80%以上100%未満の達成率

C・・・・目標値の60%以上80%未満の達成率

D・・・・目標値の30%以上60%未満の達成率

E・・・・目標値の30%未満の達成率

6 障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実

数値目標	基本施策	項目	単位	指針	実績 R4(上段) R5(中段)	年度	目標	実績	評価	実績に対する評価の説明 (6年度・コメント)	担当課
6-17		公共職業安定所の支援を受けて就職する者の数	人	○	546 539	R6 R7 R8	630 672 714	616	B	令和5年度実績より増加したものの、令和6年度目標値を下回った。	障害福祉事業課
6-18	(2) 障害者就業・生活支援センターの運営強化	障害者就業・生活支援センター登録者の就職件数	件		558 579	R6 R7 R8	618 648 678	585	B	令和5年度実績より増加したものの、令和6年度目標値を下回った。	障害福祉事業課
6-19		障害者就業・生活支援センター登録者のうち精神障害のある人の就職者の職場定着率	%		77.5 81.5	R6 R7 R8	78.3 78.7 79.1	78.9	A	令和6年度の数値目標を上回った。	障害福祉事業課
6-20		障害者就業・生活支援センター事業実利用者数	人	○	12,800 13,111	R6 R7 R8	13,906 14,459 15,012	13,283	B	令和5年度実績より増加したものの、令和6年度目標値を下回った。	障害福祉事業課
6-21	(3) 障害のある人を雇用する企業等への支援	企業支援員の支援企業数	社		7,421 7,760	R6 R7 R8	8,300 8,700 9,100	8,162	B	企業の支援数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により減少を続けていたが、徐々に支援数が増加し、対前年比402社増加となったものの、目標を下回った。	産業人材課
6-22		従業員40.0人以上規模の企業で雇用される障害のある人の数【6-3再掲】	人		—	R6 R7 R8	14,350 15,550 16,740	14,844	A	法定雇用率の引き上げに伴い、企業での雇用が進み、雇用障害者数は対前年比3.8%増加となり、目標を達成した。	産業人材課
6-23		従業員40.0人以上規模の企業で雇用される精神障害のある人の数【6-4再掲】	人		—	R6 R7 R8	3,670 4,300 5,040	3,943.5	A	法定雇用率の引き上げに伴い、企業での雇用が進み、精神障害者の雇用数は対前年比12.3%増加となり、目標を達成した。	産業人材課
6-24	(4) 支援機関や関係機関のネットワークの構築及び情報共有化	ネットワーク構築のための会議を開催した圏域数	箇所		16 16	R6 R7 R8	16 16 16	16	A	県内の障害保健福祉圏域ごとに設置された障害者就業・生活支援センター(16箇所)において、地域意見交換会等の取組を実施した。	障害福祉事業課

第八次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

(評価)

A・・・・目標値の100%以上の達成率

B・・・・目標値の80%以上100%未満の達成率

C・・・・目標値の60%以上80%未満の達成率

D・・・・目標値の30%以上60%未満の達成率

E・・・・目標値の30%未満の達成率

6 障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実

数値目標	基本施策	項目	単位	指針	実績 R4(上段) R5(中段)	年度	目標	実績	評価	実績に対する評価の説明 (6年度・コメント)	担当課
6-25	(5) 福祉施設等で生産活動・福祉的就労を行う障害のある人の工賃(賃金)向上への取組の推進	就労継続支援A型事業所が条例の基準を満たしている割合	%		57.5	R6	100	79.8	C	令和6年度の目標値を下回った。	障害福祉事業課
					85.4	R7	100				
						R8	100				
6-26		県内官公需実績 (県及び市町村)				R6			B	(県発注金額と市町村発注金額の達成率平均値)	障害福祉事業課
						R7					
						R8					
		県	発注件数	件	237	R6	288	213	C	令和6年度の目標値を下回った。	障害福祉事業課
					232	R7	313				
						R8	339				
		県	発注金額	千円	22,782	R6	27,642	24,021	B	令和6年度の目標値を下回った。	障害福祉事業課
					27,075	R7	30,072				
						R8	32,502				
		市町村	発注件数	件	903	R6	1,048	1,395	A	令和6年度の目標値を達成した。	障害福祉事業課
					1,042	R7	1,193				
						R8	1,338				
		市町村	発注金額	千円	198,502	R6	240,848	258,191	A	令和6年度の目標値を達成した。	障害福祉事業課
					204,724	R7	262,023				
						R8	283,196				
6-27		就労継続支援B型事業所の平均工賃月額	円	○	15,371	R6	16,185	23,646	A	令和6年度の目標値を達成した。	障害福祉事業課
					20,931	R7	16,592				
						R8	17,000				

第八次千葉県障害者計画主要施策管理表

令和6年度

主要施策

7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実

◇発達障害、高次脳機能障害のある人など、地域の支援施設等のみでは支援が困難な人に対する専門的支援拠点を設置し支援の拡充を図るとともに、より地域に密着した支援ができるよう、支援者の育成や地域連携の強化に取り組みます。

◇医療的ケアが必要な障害のある人の在宅での暮らしを支援するため、市町村の支援状況の実態把握に努めるとともに、医療分野等との連携を含めた支援体制の整備等を行えるよう市町村への支援に取り組みます。

◇本人や家族の負担が大きい心身に重度の障害のある人に対しては、市町村が実施する負担軽減のための医療費助成について、引き続き補助を行います。

◇ひきこもり本人や家族等に対しては、相談支援等により、支援を希望するひきこもり本人の自立を推進し、本人及び家族等の福祉の推進を図ります。

基本施策

- (1) 地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進
- (2) 通所サービスだけでは支援が困難な障害に対する支援の推進
- (3) 重度・重複障害のある人の負担軽減の推進
- (4) ひきこもりに関する支援の推進
- (5) 矯正施設からの出所者等に対する支援の推進

数値目標の評価

(個)

年度	目標数	A	B	C	D	E	その他
6	10	1	3	2	2		2
7							
8							

主要施策の取組状況等

令和6年度	【取組結果】 (1)県及び千葉市発達障害者支援センターによる相談対応、各種研修や講座の開催、企業等に対するコンサルテーション等を行いました。県及び千葉市発達障害者支援センターにより、保護者及び支援者に対するペアレントプログラム等の支援を実施するとともに、ペアレントメンターを養成し、相談体制の強化に努めました。 (2)地域で生活する重症心身障害の状態にある人等が、専門性を備えた福祉型短期入所事業所を利用しやすくなるような制度を引き続き実施しました。 (3)重度心身障害のある人の医療費について、令和6年度も市町村に対し補助を行いました。 (4)ひきこもり地域支援センターにおいて、本人・家族等に対する相談支援を行いました。また、各市町村職員や地域の支援者を対象としたひきこもりサポーター養成研修を実施しました。 (5)地域の福祉関係機関と連携し、地域生活定着支援センター開設後これまでに、障害のある人を含む対象者443人(6年度新規34人)の支援に取り組みました。
令和7年度	【取組結果への対応】 (1)県及び千葉市発達障害者支援センターによる相談対応、各種研修や講座の開催、企業等に対するコンサルテーション等を行います。県及び千葉市発達障害者支援センターにより、保護者及び支援者に対するペアレントプログラム等の支援を実施するとともに、ペアレントメンターの養成に努めます。 (2)引き続き、地域で生活する重症心身障害の状態にある人等が、専門性を備えた福祉型短期入所事業所をより利用しやすくなるような制度の拡充等を検討します。 (3)重度心身障害のある人の医療費について、引き続き市町村に対し補助を行います。 (4)引き続き相談支援体制の充実を図ります。また、ひきこもりサポーター養成研修を開催し、地域の支援者や関係機関との連携体制の構築を図ります。 (5)矯正施設を出所した障害のある人が安心して地域生活を送ることができるよう、引き続き、地域生活定着支援センターの安定的な運営に努めます。

第八次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

(評価)

A……目標値の100%以上の達成率

B……目標値の80%以上100%未満の達成率

C……目標値の60%以上80%未満の達成率

D……目標値の30%以上60%未満の達成率

E……目標値の30%未満の達成率

7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実

数値目標	基本施策	項目	単位	指針	実績 R4(上段) R5(中段)	年度	目標	実績	評価	実績に対する評価の説明 (6年度・コメント)	担当課
7-1	(1) 地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進	発達障害者支援センター相談件数(地域相談支援機関での相談を含む)【5-5再掲】	件	○	14,153 13,506	R6 R7 R8	16,000 16,000 16,000	13,481	B	発達障害者支援センター等が、発達障害のある方や関係者、関係機関に対し、研修や啓発を継続することにより、相談件数を維持することにつながったものと推察される。	障害福祉事業課
7-2		発達障害者支援地域協議会の開催回数【5-6再掲】	回	○	1 2	R6 R7 R8	3 3 3	2	C	県及び市のセンターで各1回開催し、目標を達成できなかった。	障害福祉事業課
7-3		発達障害者支援センター及び発達障害者地域支援マネジャーの関係機関への助言件数【5-8再掲】	件	○	878 (420) 879 (435)	R6 R7 R8	900 900 900	732 (457)	—	県センターについては、件数が増となった。市センターについては、国の実績報告の集計方法の変更に伴い、件数が減少した(R5:444件・R6:275件)。そのため、実績の数値が比較できない。 ※実績欄の()は県分の内数である。	障害福祉事業課
7-4		発達障害者支援センター及び発達障害者地域支援マネジャーの外部機関や地域住民への研修、啓発件数【5-9再掲】	件	○	529 (242) 561 (231)	R6 R7 R8	600 600 600	138 (98)	—	県センターについては、外部機関からの講師依頼件数減等により実績が減となった。市センターについては、国の実績報告の集計方法変更に伴い、件数が減少した(R5:330件・R6:40件)。そのため、実績の数値が比較できない。 ※実績欄の()は県分の内数である。	障害福祉事業課
7-5		発達障害者支援センター運営事業【5-10再掲】				R6 R7 R8			B	(構成目標の平均による評価)	障害福祉事業課
		実施箇所数	箇所	○	3 2	R6 R7 R8	3 3 3	3	A	県センターが2箇所、市センターが1箇所設置し、目標を達成した。	障害福祉事業課
		実利用者数	人	○	2,231 1,500	R6 R7 R8	2,300 2,400 2,500	2,303	A	実績が減となったが、ニーズがあったため、目標を達成した。	障害福祉事業課

第八次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

(評価)

A……目標値の100%以上の達成率

B……目標値の80%以上100%未満の達成率

C……目標値の60%以上80%未満の達成率

D……目標値の30%以上60%未満の達成率

E……目標値の30%未満の達成率

7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実

数値 目標	基本施策	項目	単位	指針	実績 R4(上段) R5(中段)	年度	目標	実績	評価	実績に対する評価の説明 (6年度・コメント)	担当課
		研修等受講者数	人	○	6,673 4,170	R6 R7 R8	7,000 7,500 8,000	5,607	B	予定したよりニーズが少なく受講者数は減少したものの、概ね目標を達成した。	障害福祉事業課
7-6		ペアレントトレーニングやペアレントプログラム等の支援プログラム等の受講者数(保護者)【5-18再掲】	人	○	89 64	R6 R7 R8	110 110 110	61	D	予定したよりニーズが少なく受講者数は増加したものの、目標を達成できなかった。	障害福祉事業課
7-7		ペアレントトレーニングやペアレントプログラム等の支援プログラム等の実施者数(支援者)【5-19再掲】	人	○	63 55	R6 R7 R8	80 90 100	54	C	予定したよりニーズが少なく受講者数が減少し、目標を達成できなかった。	障害福祉事業課
7-8		ペアレントメンターの登録者数【5-20再掲】	人	○	59 88	R6 R7 R8	88 88 100	88	A	発達障害者支援センターが登録者数の増に努め、目標を達成した。	障害福祉事業課
7-9		ピアサポートの活動への参加人数【5-7再掲】	人	○	1,030 882	R6 R7 R8	1,400 1,600 1,800	738	D	養成研修実施し、ピアサポーター増に努めたが、参加人数が減となり、目標を達成できなかった。	障害福祉事業課
7-10	(2) 通所サービスだけでは支援が困難な障害に対する支援の推進	医療的ケアが行える短期入所事業所数	箇所		26 27	R6 R7 R8	32 35 38	29	B	目標値は下回ったが、前年度から増加し、8割以上の達成率となった。	障害福祉事業課

第八次千葉県障害者計画主要施策管理表

令和6年度

主要施策

8 様々な視点から取り組むべき事項

(1) 人材の確保・定着

障害の特性及び障害のある人のニーズに応じたサービス提供体制を構築するため、ホームヘルパー等の福祉職の養成・確保と医学的リハビリテーションに従事する医師の確保、理学療法士等のリハビリテーション専門職の充実や資質の向上に努めます。

(2) 高齢期に向けた支援

高齢期に向けた支援については、国における地域の居住支援やサービス提供体制の在り方の検討状況を注視しながら検討を進めます。

(3) 保健と医療に関する支援

障害は、人の一生を通じて様々な時期に発生します。家族や本人が障害の状況を正しく認識し、適切な医療サポートを受けることが重要となります。また、障害のある人が地域で安心して暮らしていける社会づくりを進めるためには障害のある人に関する健康づくり・医療・福祉施策の総合的な連携体制の充実に取り組んでいくことが重要です。身近な地域で必要なリハビリテーションを受けられるよう地域リハビリテーション体制等の充実を図ります。定期的に歯科健診や歯科医療を受けることが困難な障害のある人に対して、巡回歯科診療車による定期的な歯科健診や歯科保健指導等を実施します。総合難病相談支援センター及び県内8箇所に設置した地域難病相談支援センターを拠点として、相談支援の実施、患者家族の交流促進、難病への理解促進等を図ります。

(4) スポーツと文化芸術活動に対する支援

東京2020パラリンピック競技大会を契機として促進された、障害のある人へのスポーツの普及や障害のある人がスポーツを行うことができる環境づくりについて、県障害者スポーツ大会の開催及び全国障害者スポーツ大会への選手派遣を通じ、より一層取り組んでいきます。国のスポーツ行政の一元化も踏まえ、選手の育成強化に努めます。また、様々な機会を通じて指導者の資質の向上に努めます。身近な地域で文化芸術活動に親しむために、参加・発表の機会の確保と参加者の拡大に努めます。障害のある人が、生涯にわたり教育や文化芸術、スポーツなどの様々な機会に親しむことができるよう、生涯学習を支援するための方策を講じていきます。

(5) 住まいとまちづくりに関する支援

障害のある人が、安心して快適に暮らすことができるまちづくりを推進します。また、鉄道駅、道路や建築物などの公共施設については、バリアフリー化やユニバーサルデザインのより一層の普及に努めます。

(6) 暮らしの安全・安心に関する支援

障害のある人が住み慣れた地域で安全に安心して生活することができるよう、防災部門と福祉部門とで連携し、市町村における個別避難計画の作成に対する支援や、災害時における情報伝達のための人材確保など、防災に向けた取組を推進します。また、犯罪被害や消費者被害から障害のある人を守るため、防犯対策や消費者トラブルの防止に向けた取組を推進します。

(7) 障害のある人に関するマーク・標識の周知

行政・民間団体等により設けられている各種の障害のある人に関するマークは、バリアフリー等に対応したルールや障害のある人への支援の必要性を伝えると同時に、障害のある人への理解を促す「心のバリアフリー」につながるものであり、これらのマークの県民への周知・普及と理解の促進を図ります。

基本施策

(1) 人材の確保・定着

(2) 高齢期に向けた支援

(3) 保健と医療に関する支援

(4) スポーツと文化芸術活動に対する支援

(5) 住まいとまちづくりに関する支援

(6) 暮らしの安全・安心に関する支援

(7) 障害のある人に関するマーク・標識の周知

数値目標の評価

(個)

年度	目標数	A	B	C	D	E	その他
6	15	9	4	1			1
7							
8							

主要施策の取組状況等

令和6年度	【取組結果】 (1) 県が指定した事業者による研修により人材の確保及び支援の質の向上を図りました。 (2) 県内における介護支援専門員の法定研修において、障害福祉分野で起こっている課題についても研修内容に取り入れるなど、障害福祉と高齢者福祉との連携強化を図りました。 (3) 総合難病相談支援センター及び県内8箇所の地域難病相談支援センターを拠点として、難病患者等の就労支援や療養上の相談、研修会等を実施しました。 (4) パラスポーツ競技団体支援事業では19競技の体験会を実施し、延べ2,184名が参加しました。障害者芸術文化活動支援センターを設置し、障害のある人による文化芸術活動の振興に取り組みました。 (5) 「ちば障害者等用駐車区画利用証」を発行し、交付しました。また、駐車区画障害者等用駐車区画の利用マナーの向上に向け、公共施設等へのポスターの掲示やチラシの配布、県ホームページ、ラジオ、県民だより等を通じた啓発活動を行いました。 (6) 防災訓練に聴覚障害者の方にも参加していただくため、市町村との共催による九都県市合同防災訓練(実動訓練)や土砂災害避難訓練において、手話通訳者に依頼し、訓練の通訳を行いました。 (7) ストラップ型ヘルプマークを24,500個作成し、市町村等へ配布したほか、千葉県ホームページにより各種マークの普及に努めました。
令和7年度	【取組結果への対応】 (1) 引き続き、各種事業の実施により人材の確保及び支援の質の向上を図ります。 (2) 引き続き、研修の場を検討・調整していきます。また、市町村の自立支援協議会等において、障害福祉と高齢者福祉との連携体制について協議していくよう働きかけを行います。 (3) 引き続き、必要な支援が実施できるよう取り組みます。 (4) パラスポーツ競技団体支援事業は、21競技の体験会を実施予定です。障害者芸術文化活動支援センターの運営を通じて、相談支援、人材育成、情報の収集・発信、ネットワークの構築、発表等の機会の創出等に引き続き取り組み、障害者芸術の振興を図ります。 (5) 利用マナーの向上が図られるよう、引き続き啓発活動に努めます。また、施設の整備については、バリアフリー法や福祉のまちづくり条例に基づいて、引き続き指導等に取り組みます。 (6) 引き続き、各種防災訓練のなかで、障害者等に配慮した避難所運営等が実施できるよう、市町村の取組を促していきます。 (7) 引き続き、各種マークの普及に努めるため、ストラップ型ヘルプマークを作成するとともに、各種マークの普及に努めます。

第八次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

(評価)

A……目標値の100%以上の達成率

B……目標値の80%以上100%未満の達成率

C……目標値の60%以上80%未満の達成率

D……目標値の30%以上60%未満の達成率

E……目標値の30%未満の達成率

8 様々な視点から取り組むべき事項

数値 目標	基本施策	項目	単位	指針	実績 R4(上段) R5(中段)	年度	目標	実績	評価	実績に対する評価の説明 (6年度・コメント)	担当課
8-1	(1) 人材の確保・定着	重度訪問介護従事者の養成(強度行動障害を除く)				R6 R7 R8			A	(養成人数の評価)	障害福祉事業課
		養成人数	人		121 185	R6 R7 R8	130 140 150	181	A	実績は減となったが、指定を受ける事業者があったため、ほぼ目標を達成した。	障害福祉事業課
		研修回数	回		27 54	R6 R7 R8	30 35 40	60	A	指定を受ける事業者があり、開催回数を確保したため、目標を達成した。	障害福祉事業課
8-2		同行援護従事者の養成				R6 R7 R8			B	(養成人数の評価)	障害福祉事業課
		養成人数	人		407 431	R6 R7 R8	450 475 500	372	B	実績が減となったが、指定を受ける事業者があったため、ほぼ目標を達成した。	障害福祉事業課
		研修回数	回		34 36	R6 R7 R8	30 35 40	27	B	実績が減となったが、指定を受ける事業者があったため、ほぼ目標を達成した。	障害福祉事業課

第八次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

(評価)

A……目標値の100%以上の達成率

B……目標値の80%以上100%未満の達成率

C……目標値の60%以上80%未満の達成率

D……目標値の30%以上60%未満の達成率

E……目標値の30%未満の達成率

8 様々な視点から取り組むべき事項

数値目標	基本施策	項目	単位	指針	実績 R4(上段) R5(中段)	年度	目標	実績	評価	実績に対する評価の説明 (6年度・コメント)	担当課
8-3		強度行動障害支援者の養成				R6 R7 R8			A	(養成人数の評価)	障害福祉事業課
		養成人数	人		1,291 973	R6 R7 R8	1,300 1,400 1,500	3,506	A	大手の事業者が実施したため、目標を大幅に上回った。	障害福祉事業課
		研修回数	回		55 44	R6 R7 R8	55 60 65	103	A	大手の事業者が実施したため、目標を大幅に上回った。	障害福祉事業課
8-4		医師及び看護師の確保定着				R6 R7 R8			—	(構成目標の平均による評価)	医療整備課
		医師修学資金の貸付けを受けた医師数	人		230 283	R6 R7 R8	325 375 435	322	B	医師修学資金を貸し付けた39名が新たに医師として業務を開始した。それにより医師修学資金の貸付けを受けた医師数は322名となったが、目標である325名には達しなかった。	医療整備課
		看護職員の養成所等卒業生の県内就業率	%		63.1 62.8	R6 R7 R8	66.2 66.2 66.2	61.3	B	前年度(62.8%)より1.5ポイント低下しており、引き続き各種施策に取り組み、県内就業率の増加を目指す。	医療整備課
		看護職員の離職率	%		12.8 (※直近5年(H29~R3)平均値)	R6 R7 R8	11.1 11.1 11.1	調査中	—	【調査中】	医療整備課

第八次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

(評価)

A・・・・目標値の100%以上の達成率

B・・・・目標値の80%以上100%未満の達成率

C・・・・目標値の60%以上80%未満の達成率

D・・・・目標値の30%以上60%未満の達成率

E・・・・目標値の30%未満の達成率

8 様々な視点から取り組むべき事項

数値目標	基本施策	項目	単位	指針	実績 R4(上段) R5(中段)	年度	目標	実績	評価	実績に対する評価の説明 (6年度・コメント)	担当課
8-5		福祉・介護人材確保対策事業の事業数	件		148 147	R6 R7 R8	150 150 150	143	B	目標値をやや下回ったが、引き続き、県が指定した事業者による研修及び人材確保に向けた取組を実施していく。	健康福祉指導課
8-6		相談支援専門員研修(初任者・現任・主任)及びサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修(基礎・実践・更新)修了者数【5-15再掲】	人	○	2,867 3,109	R6 R7 R8	3,000 3,000 3,000	2,988	B	受講のニーズがあったため、修了者数は減少したものの、概ね目標を達成した。	障害福祉事業課
8-7		相談支援専門員及びサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者への意思決定支援ガイドライン等を活用した研修【5-16再掲】				R6 R7 R8			C	(修了者数の評価)	障害福祉事業課
		修了者数	人	○	0 48	R6 R7 R8	60 60 60	36	C	予定したよりニーズが少なく、修了者数が減少し、目標を達成できなかった。	障害福祉事業課
		実施回数	回	○	0 1	R6 R7 R8	1 1 1	1	A	研修を開催したため、目標を達成した。	障害福祉事業課
8-8	(3) 保健と医療に関する支援	障害者支援施設及び障害児入所施設の歯科健診実施率	%		77.0 95.1	R6 R7 R8	90 95 100	93.9	A	目標値を達成した。	障害福祉事業課
8-9	(4) スポーツと文化芸術活動に対する支援	パラスポーツの指導者数	人		812 915	R6 R7 R8	増加を目指す 増加を目指す 増加を目指す	947	A	県内の大学でも資格取得の機会が増えていることが増加要因の1つと考えている。	生涯スポーツ振興課

第八次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

(評価)

A・・・・目標値の100%以上の達成率

B・・・・目標値の80%以上100%未満の達成率

C・・・・目標値の60%以上80%未満の達成率

D・・・・目標値の30%以上60%未満の達成率

E・・・・目標値の30%未満の達成率

8 様々な視点から取り組むべき事項

数値目標	基本施策	項目	単位	指針	実績 R4(上段) R5(中段)	年度	目標	実績	評価	実績に対する評価の説明 (6年度・コメント)	担当課
8-10	(5) 住まいとまちづくりに関する支援	多機能トイレが整備されている県立公園				R6 R7 R8			A	(整備率の評価)	公園緑地課
		公園数	箇所		14 14	R6 R7 R8	14 14 14	14	A	令和3年度に目標達成済み 今後も引き続き多機能トイレの整備に努めていく。	公園緑地課
		整備率	%		93 93	R6 R7 R8	93 93 93	93	A	令和3年度に目標達成済み 今後も引き続き多機能トイレの整備に努めていく。	公園緑地課
8-11		主要駅のエレベーター等の設置による段差解消割合	%		99.5 99.1	R6 R7 R8	99.5 99.5 99.5	98.6	B	1市(1駅1基)のエレベーターに対し、補助を行った。なお、新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた鉄道利用者数が回復し、対象となる主要駅(利用者数3,000人以上又は2,000人以上3,000人未満で生活関連施設に位置付けられるもの)が令和6年度に5駅増加したが、うち2駅が段差未解消のため、設置率は令和5年度(99.5%)から低下した。	交通計画課
8-12		県営住宅のうちバリアフリー化された住宅数	戸		5,278 5,453	R6 R7 R8	5,418 5,526 5,634	5,427	A	「千葉県県営住宅長寿命化計画」に基づき、計画どおり、バリアフリー化された県営住宅を整備した。	住宅課
8-13		障害ある人等の住宅確保要配慮者の入居を拒まない住宅登録戸数	戸		38,975 42,960	R6 R7 R8	増加を 目指し ます 増加を 目指し ます 増加を 目指し ます	45,286	A	「千葉県住生活基本計画」及び「千葉県賃貸住宅供給促進計画」に基づくセーフティネット住宅の供給促進を行うことにより、住宅登録戸数が増加した。	住宅課
8-14	(6) 暮らしの安全・安心に関する支援	個別避難計画を作成した市町村数	市町村		33 41	R6 R7 R8	44 49 54	47	A	市町村の取組により、個別避難計画の作成市町村数が目標を達成している状況にあるが、全市町村で早期に個別避難計画の作成に着手がされるよう取り組む。	危機管理政策課
8-15		日常生活自立支援事業利用者数【1-9再掲】	人		1,701 1,805	R6 R7 R8	1,752 1,832 1,912	1,753	A	令和6年度の数値目標を達成している。	健康福祉指導課